

OMC事務局 〒565 豊中市上新田 4-16-1-33 合原一夫 TEL06-833-9227
 広報編集局 〒573 枚方市三栗 1-18-20 前田茂夫 TEL0720-50-5781

平成8年2月(1996年) No. 362

’96は希望の持てる年でありたい

前田茂夫

昨年は阪神大震災に始まって、オーム事件、住専問題と暗い話題ばかりが続いて、近年まれにみる最悪の年でした。旧暦の話で恐縮ですが、中国の伝えでは閏(うるう)8月の来る年(1995年がそうでした)は、災害が多いと信じられているようです。ちなみにその前の閏8月のあった年は1976年(昭和51年)で、この年には天津の北にある唐山市で大地震があり、24万人が死亡しそのあと毛沢東が死亡しています。昨年も中国では5月末に広東省、6月末に長江(揚子江)中下流の大洪水が起こり、また華北の大旱魃で黄河が600Kmにわたって干上がるという災害が起こっています。暗い話は昨年限りにして欲しいものです。

さて今年の干支(えと)は丙子(ひのえね)です。丙は陽気の発展した象で、炳(あきらか、つよし)を意味するそうです。今年の丙子は「新しい芽が伸びはじめ、新しい生命が創造される年」と解釈できるそうです。

昨年は戦後50年の節目の年であって、いろんな矛盾が一気に総決算されたといえるのではないのでしょうか。今年こそ希望の持てる年に必ずなって欲しいものと願わずにはられません。

2月例会のお知らせ

2月例会は第4土曜日24日
 阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3F、右地図参照)

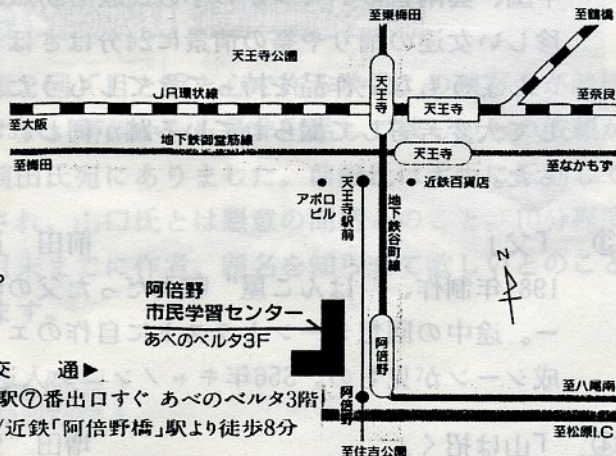
18時より。今までより20分早く始めます。新しい会場で新しいOMCの門出を迎えます。

多数ご出席期待。作品の方も

よろしく。

◀交通▶

- 地下鉄谷町線「阿倍野」駅⑦番出口すぐ あべのベルタ3階
- JR・地下鉄「天王寺」駅/近鉄「阿倍野橋」駅より徒歩8分



☆1月例会のレポート

96年の第1回例会であり、長年慣れ親しんだ「なにわ会館（ホテル・アウエイナ大阪）」での最後の例会でもあるので、今月は出席者が多いに違いないと予想していたが、あけてビックリだったの6名で氣勢の上がらぬこと甚しい。OMC最低記録の更新である。会長が旅行中、閑世話役も所用で出られないとは予告されていたが、もう少し出席者があるものと思っていた。来月からの新会場、例会日変更（第3木曜日→第4土曜日へ）に期待をつなぎたい。唯、長らくお休みされていた田中氏がひょっこり顔を見せられ、来月からは出ますからとの心強いお言葉に感謝。

土曜日なら出られると旧会員の山形氏も出席の意向。ウィークデーでは出席困難と云っていた岡本氏も土曜日なら大丈夫とのことで、2月例会からは賑やかさが復活するものと信じたい。乞、ご協力。とにかく楽しくやろう！

さて、来月からは8ミリフィルムの上映が難しそうだというので、（機材を預かってもらえないので、その都度運び込む必要がある）フィルムのリバイバル作品が4本も集まった。増田氏は先月に引続いてシネスコ作品を出品、横長の画面を懐かしく拝見した。

上映

I. フィルム作品の部

- ① 「湯島の白梅」 江村 一郎氏 SIM 5分
フジのクラブ撮影会作品、1983年制作、歌謡映画。歌謡曲のメロディーにのせて”お蔭と力”を演ずる2人の演技が見もの。演技が素人の域を出ないのもご愛嬌。幼い頃見た村芝居を思い出した。
- ② 「雲南の女たち」 上総修一郎氏 SuT 24分
中国、雲南省のいくつかの少数民族を訪ねたときの記録。女性達が主役で、珍しい女達の踊りや祭の情景に24分はさほど長くは感じなかった。ご本人は”しょうもない作品を持ってきてしもうた。”とご謙遜されていたが、どうして大変苦勞して撮られている跡が伺われる一方、なかなか楽しい作品であった。
- ③ 「父」 前田 茂夫氏 SuT 20分
1981年制作、”はんこ屋”職人だった父の晩年のヒューマンドキュメンタリー。途中の回想シーンとラストに自作のエリアルイメージ合成機を使った合成シーンが見もの。S56年キャノンコン入選作。
- ④ 「山は招く」 増田 栄一氏 ST(シネマ) 18分
S46年作、峻険な北アルプスの山々が被写体。特に立山、浄土山から見た北

アルプスの雄大な山々の大パノラマは、シネスコの大画面と相まって迫力満点であった。惜しむらくは25年前の作品のせい（コダクローム？）、色のヌケが甚だしく残念であった。ビデオならどうなった？ つい感慨。

II. ビデオ作品の部

① 「'95 御堂筋」 有村 博氏 19分

御堂筋を北から南まで丹念に撮られている。ナレーションでは御堂筋の誕生の経緯にも触れ、分りやすくよく纏まっている。ラストはパレードで盛り上げているが、俯瞰撮影もあって変化をつけられているのは良かった。しかしこのテーマで19分はやはり長いように感じられた。

今月の出席者：有村、江村、上総、田中、前田、増田の6氏。

例会後、4氏が2次会のいつもの喫茶店へ直行、次回からは会場が変わることもあって、長年慣れ親しんだこの喫茶店（天山閣）ともお別れかと思うと、何か名残が付きなかった。

☆故小倉宝蔵氏追悼映写会開催についてご協力お願い

OMC・関西シネクラブの両会長だった小倉宝蔵氏が逝去され、はや3ヶ月になります。偉大だった氏の偉業を偲び追悼映写会を下記の通り行いますので会員諸氏のご協力をお願い致します。

記

日 時 '96年4月19日（金）午後5時30分開場、6時映写開始
場 所 大阪・淀屋橋 朝日生命ホール

この程関世話役より、若干名の方を世話人としてお願いし、準備作業に入りました。朝日生命ホールでの開催を是非成功させたいものです。

☆船橋の映像仲間から「目と手と心で作る映像」作品の出品を要請

本年9月に千葉県教委主催の第2回「目と手と心で作る映像」の映写会が船橋市勤労市民センターで行われますが、関西からも是非出品して欲しいとの依頼が先方の世話役山口和三郎氏から前田氏宛にありました。前田氏は大阪に転勤してくる前に船橋のクラブにて活動され、山口氏とは懇意の間柄とのこと。10分程度のS-VHSまたはVHSで6月末までに作者、題名を知らせて欲しいとのこと。当方も前向きに考えたいと思います。

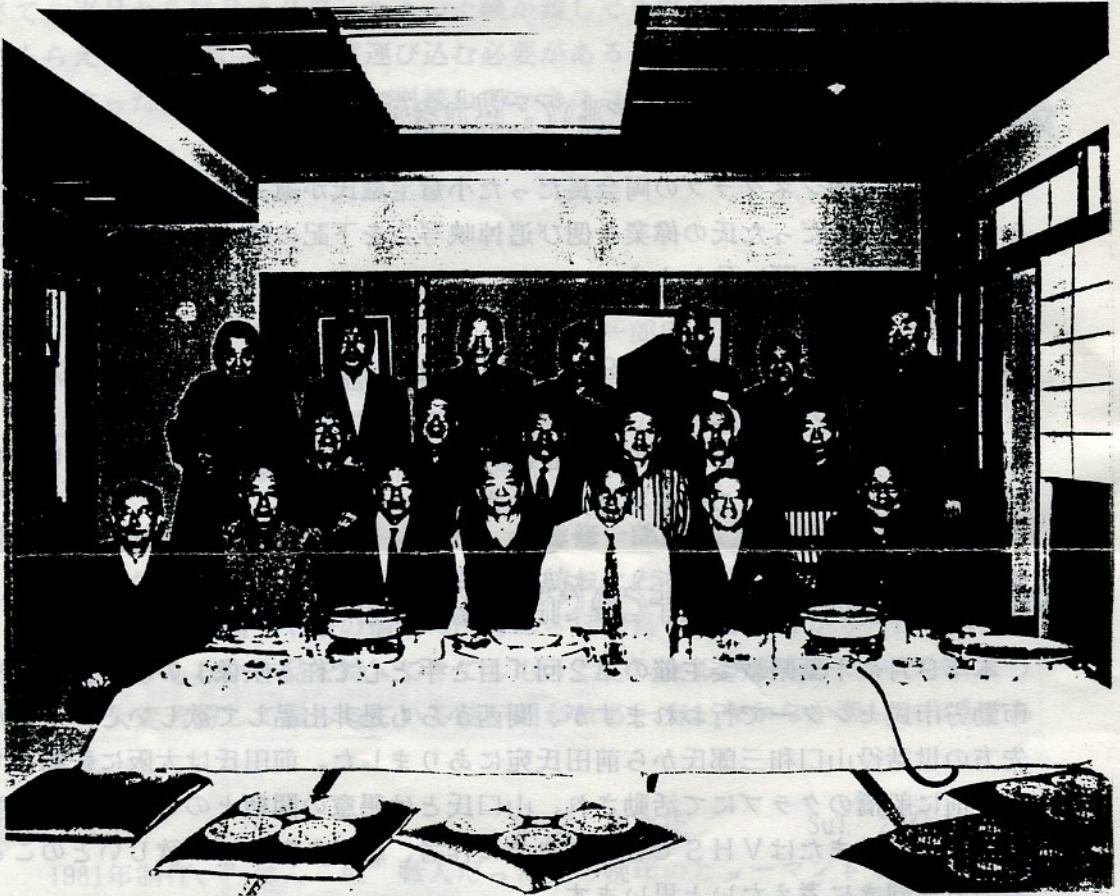
☆なごやかに合同新年会・例会交流も期待!

去る1月21日、ホテル・アウィーナ大阪（なにわ会館）にて、OMC・関西

シネクラブの合同新年会が行われた。これは故小倉会長が両クラブの代表をされていた関係で近年合同で行われるようになったものだが、気心知れた仲間同志ということもあって、なごやかに鍋料理をつつきながらの新年会となった。

この席で、両クラブは映写会と新年会だけは合同でやっているが、日頃の例会でも気軽に交流してはどうかとの提案が本田さんよりなされ、OMCとしても関西シネクラブ会員諸氏が例会にお客様としてご出席していただくことは大いに歓迎したい旨申し上げた。またOMC会員が関西シネクラブの例会（第1日曜日14時～関氏宅）に出てみたいという希望があれば、どうぞということである。

（会場の都合で前もって関さんに電話をいれておいて下さい）。姉妹クラブとして仲良く楽しくやっていきたいものである。（合原記）



合同新年会 記念写真（森 保信会員撮影）